

平成21年1月29日

各位

日油株式会社

万能インフルエンザワクチンに関する研究発表について

当社は、国立感染症研究所 内田主任研究官を代表者とする万能インフルエンザワクチンの共同研究に参画しています。平成20年度の研究成果について、国立感染症研究所が主催する研究発表会が下記次第にて開催され、当社は共同研究者として参加し発表を行いました。

記

- 日時：平成21年1月27日（火） 15:30～19:00
場所：東京都新宿区戸山1-23-1
国立感染症研究所 戸山庁舎 共用第一会議室
発表会名：万能インフルエンザワクチン創製に向けて
1. 「CTL誘導型リポソームワクチンの万能インフルエンザ創製への応用」
 2. 「ヒトHLAトランスジェニックマウスを用いたインフルエンザウイルス感染実験の結果報告」
 3. 「インフルエンザパンデミックにいかに対応すべきか」
 4. 「リポソームワクチンの臨床応用に向けて：国内外のリポソーム製剤臨床応用の現状」

発表内容は、ワクチン処方インフルエンザウイルスに対する普遍的な効果を発揮する可能性について、継続して研究した成果に関するものです。

具体的には、ワクチン処方の鳥インフルエンザウイルス、ヒトインフルエンザウイルスなど数種のウイルスに対する有効性を、ヒトの遺伝子を発現させたマウスを用いて確認した研究成果に関するものです。当社は、研究分担に応じて、リン脂質あるいはリポソームの応用性について発表を行いました。

本共同研究の課題であるインフルエンザワクチンの実用化に至るまでには、更なる動物試験および実用化のための検討が必要であるものと考えております。

以上